

としま 議会だより

令和4年6月 発行（年4回発行）Toshima Village Council 2022.6 NO.97



▲ 口之島 入学式の様子

TOPIX

○令和4年3月定例会

3月7日～3月16日（10日間）

- ・ 条例の制定・改定 12件
- ・ 補正予算 7件
- ・ 当初予算 7件
- ・ 契約 8件
- ・ 計画策定 1件
- ・ 権利の放棄 1件
- ・ 同意 1件

議会だよりの表紙を飾る写真募集中です

島の風景や行事など魅力ある一枚をお待ちしています。
お問い合わせは議会事務局まで

○一般質問 3件

- ・ 永田和彦 議員 . . . 2P
- ・ 坂元 勇 議員 . . . 2P
- ・ 岩下正行 議員 . . . 3P
- ・ そのほかの質問 . . . 3P

テレワークについて

○永田議員 コロナ禍により企業等でも在宅勤務が進んだことで、都市部から地方への移住が注目されている。職種によっては、環境さえ整っていれば、日本国内どこでも自身の業務を行える世の中になった。今後、村として移住定住やワーケーションの呼び込みなどのように活用していくか伺う。



永田 和彦 議員

○肥後村長 新型コロナウイルス感染症により、居住地を選ばない「新しい働き方」をする方が増えている。本村においても、全島でブロードバンド整備されたことにより、テレワークに対する移住支援とワーケーションによる関係人口の創出を図り、移住定住の促進を図つていきたい。

ワーケーションの受入についてテレワークと同様に働く場所にとらわれない新しい働き方として注目されている。ワーケーションの滞在中に島での仕事や生活を短い時間で体験できるプログラムを用意していきたい。

○永田議員 テレワークにより役場職員の村内勤務・村内配置について伺う。

○肥後村長 現在、自宅のネットワークを活用してテレワークをすることが可能であるが、労務管理、電話対応、業務上の意思疎通、職員の育成など問題点も多くあることから業務に支障をきたさない範囲内で行っている。村内での勤務となると現状の職員配置では困難である。今後は村内配置問題について出張所の体制も含めて検討していかねければならない。

予算について

○坂元議員 令和3年度予算の執行状況と成果について伺う。また、令和4年度予算編成の特徴について伺う。

○肥後村長 2月24日現在で、繰越予算を含めた全会計の予算総額は、九二億六五六六万円。歳入が、予算総額の三八・〇％で三五億二四七八万円。

そのうち、三三億七一五八万円が収入済み。支出が、予算総額の七八・四一％で七二億六五五二万円。そのうち、三七億七六六一万円を支出している。

成果については、まず新型コロナウイルス感染症対策として、全国に先駆け住民の80％が3回目のワクチン接種を完了している。また、光ファイバーケーブルがつながり、本土と等しい通信サービスが受けられるようになったこと。臥蛇島

離島50年式典や日本復帰・村政施行70周年記念式典を開催できたこと。しかし、村の交流対策事業、七島めぐりマラソン

やツアーといった観光事業ができなかったことが、今一つ満足できなかった状況にある。

令和4年度予算編成について。人口対策について、人材バンク制度を活用し、関係人口推進事業や、インターネットを活用した多様化した働き方、テレワークやワーケーションによる滞在型の関係人口を創出する事業にも取り組みたい。

今後、村が求める行政需要や課題解決、村の発展においてデジタル化により実現、解決できるものは、財源を確保できれば積極的に導入していきたい。



坂元 勇 議員

バックホーの使用について

○岩下議員 ミニバックホーの使用について現業以外への貸出を行わないとした経緯を伺う。

○肥後村長 村所有のミニバックホー9台のうち、コンマ2型の3台については、これまで認めていた不特定多数への使用を制限し、現業職を中心に管理・運営を行う。これは、昨年6月議会の際の全員協議会において説明を行っている。コンマ2型の利用については、コンマ4型に比べ機械に負荷がかかりすぎることから故障リスクが高まることが考えられる。

平成28年度から令和2年度までの5年間で修繕料が二五〇万円発生しており、これに至った経緯として自治会における管理が適切にできていない島があった。



岩下 正行 議員

○岩下議員 各種団体補助として補助を行うにしても1台としての負担は大きくないか伺う。

○肥後村長 機械の不具合が出ているも村のものだからと言って管理者である出張所長にも報告がなかった結果、次に使用する際に不具合が出ていたり使用できなかったりということが起きている。そういった前例を踏まえて現業職を中心に管理・運営を行う。これは、昨年6月議会の協議会の場で説明を行っている。

これからは、あくまでも集落内の道路の管理、集落内の景観管理に使用する目的に原点に返るということで不特定多数には貸し出しを行わないという方針を決定した。金額の問題については、機械を求める方の判断となる。そこに村は導入費用の割合を助成するということである。

その他の質問事項

※ここからは質問のみを掲載いたします。

○永田議員 村内住宅の何%が光ファイバー工事を敷地内まで完了しており、うち何%がインターネットプロバイダー契約をされているのか伺う。

○永田議員 村内住宅の今回整備されたインターネット環境を、高齢者の見守り支援等に今後どのように活用されていくのか伺う。

○坂元議員 デジタル社会の実現に向けて十島村の現状と、村民へのサポート体制について伺う。

○坂元議員 十島村の情報システムの標準化に向けての現状と課題について伺う。

○坂元議員 高齢者をはじめ、誰もがデジタルを活用できるような社会を目指す必要があると考えるが、どのような施策

があるか伺う。

○岩下議員 ミニバックホーについて各島に同時に2、3台整備する必要があるのか。同時に整備すると同じ時期に使用不可となるのではないのか伺う。

○岩下議員 ミニバックホーの使用に関して、死亡牛等であれば、手数料を徴収し、特例で使用できるといふことであつたが、島の常識で行くとこの手数料は高いと考えるがどうか。

○岩下議員 現業職がオペレーターであれば、その他の個人利用での使用も可能なのか伺う。

一般会計

〈総務課〉

問 ふるさと納税について

答 返礼品は寄付者が指定しており、特に人気商品は島バナナやスイートスプリングである。島バナナの品種は返礼品として出しているのは、すべて三尺バナナである。全国的に返礼品ありきで寄付される方が増加傾向にあるため、今後は生産物だけでなく加工品等の返礼品も増やしていきたいと考えている。

問 津波避難について

答 津波避難の際に一時避難所を間違えてしまい、あとから正しい避難所へ移動するという事態が起きていた。今回の津波避難においては問題なかったと認識している。改めて防災会議等でこういった事例を周知していく方針である。また、防災用で備え付けているマットや毛布は役場の指示がないとなかなか使えないといった声も聞かれたが、今後は台帳を整備する予定で、食料品等に関しては、賞味期限や取り決めも考えて周知していきたいと考えている。

問 消防団のスキルアップについて

答 消防団スキルアップについては、鹿児島市消防局による研修がある。また、新人消防団員向けの研修も日置市にある消防学校で開催されるため、コロナの状況を見ながら参加していきたいと考えている。

問 デジタル化事業について

答 RPAについて、ふるさと納税や給与システムといった実現性の高いものから進めていきたい。また、研修に参加しているが、システムは簡単でも構造が難しく理解できないと感じた。費用対効果も検証し進めなければならぬと考えている。奄美市といった実現できている自治体もあり、他の市町村の取組事例も参考にしていきたい。効果が大きく出るのは規模の大きな自治体で大量の処理が必要であるところである。奄美市は他自治体が導入することに協力的であるが、本村職員に構造を理解できる職員が少ないのが現状である。

〈地域振興課〉

問 地域おこし協力隊について

答 現在、口之島に1名、中之島1名、宝島1名が配置されており、令和4年度は中之島と悪石島に1名ずつ配置する予定である。中之島では、農家が高齢化してきており高齢者支援をできる人にも入ってもらいたいと考えている。地域おこし協力隊の任期は3年であり、今後は5年に延ばす動きもある。また、任期満了してからも島に残っている方は、平島と宝島に1名ずついらっしゃる。

問 畜産増頭について

答 令和3年度実績について、新規農家に4頭、既存農家に22頭の実績であった。農家の年齢構成を考えたところ、状況の管理ができるのかといった問題も出てくる。若い世代が増えてきている島は10年後も生き残ることができると、牧場のあり方も農家で考えていかなければならないのでは、と考える。

問 農家計画について

答 以前は畜産組合で経営分析等を行っていた経緯もあるが、今後も行っていきたい。認定農家を11農家指定しており、そういった方々の分析や数年後の目標等を設定しており、今後にも注視していきたい。兼業や専業の別や、可処分所得等も加味して何頭増やすのかといった分析も行っていく。





問 定住促進対策について

答 村営住宅や定住促進住宅の空き家がない島は、中之島と諏訪之瀬島である。宝島は入居予定者が決まっているため、空き家がなくなる。それ以外の島では、入居可能住宅がある。令和4年度には、諏訪之瀬島と宝島に二軒長屋1棟ずつ整備予定である。中之島では令和4年度では計画していないため、それ以降での整備となる。

問 観光看板について

答 観光看板は、台風等強い風にも対応できるように設計されており、風速60mにも耐えられるように設置している。トカラウマに関するものについては、QRコードを付けて映像が見られるようにしている。ほかの箇所でも今後検討していきたい。

〈土木交通課〉

問 支障木伐採について

答 倒れた木が道路をふさぐ事例があり、令和3年度は中之島中央線で84の支障木伐採を行っている。令和4年度においても同様の規模で考えている。選定については、現地に赴き精査して検討していきたいと考える。

問 西之浜漁港について

答 側溝工事に関して、出張所長からも報告を受けており、県に確認を取ったところ、予算の兼ね合いで令和3年度事業では対応できず、来年度に対応することであった。執行が遅いことに関しては、村も把握しており、要望を出している。

問 豪雨災害復旧について

答 灯台までの復旧工事については、令和4年度予算で8箇所予定しており令和5年度末を見込んでいます。しかし、現在見えていない箇所も工事が必要であった場合、追加が出てくることもある。

〈住民課〉

問 教育環境施設整備について

答 使用できなくなった遊具については、使用禁止にしており、撤去に関しては、地元でできるのか業者の委託が必要なのかを協議して進めていきたい。設置遊具は、複合型遊具を考えている。設置個所については、学校敷地内を予定しており安全面には問題ないと考えている。中之島、諏訪之瀬島、悪石島に整備予定であるが、入札によって予算の範囲内で基数を決定していく方針である。また、保護者にもどういった遊具があるのかということを示したうえで、協議を行い決定している。

問 子育て支援について

答 諏訪之瀬島では9名の未就学児がいるため、対応しきれず、令和4年度には人員確保に努めたい。資格をもった方がいない施設もあり、子育て支援員が不安を抱えているケースも考え、役場と連携していきたい。

〈教育委員会〉

問 山海留学生募集について

答 募集については、村のホームページに掲載している。現在は、関係機関に向いて募集を行うという事はしていない。チラシを更新するなど啓蒙活動は行っている。県の離島情報を発信するツールやふるさと会、島出身者の方の募集を行うなど多くの人の目に留まる努力をしている。個人情報との兼ね合いもあり、ホームページに子供たちの写真や動画を掲載することが難しく、学校の様子を確認することが難しい。学校の様子を知られることが応募にもつながるため、検討していきたい。



国民健康保険特別会計

問 総合保険事業について

答 高齢者世帯だけでなく、身世帯についても、栄養が偏ることが懸念される。食生活が健康づくりにも重要であるため、対象となる方の栄養状態や必要な栄養素が異なるため、管理栄養士や診療所看護師と連携し進めることが大切だと考える。

船舶交通特別会計

問 津波警報時のフェリーの避難について

答 津波避難マニュアルを整備している。警報が出ている状態だと入港の許可が下りないため、海上保安庁とも協議の上、宝島入港を決めている。注意報以上で行動を起こすこととなっており、その時の状況によって船員を陸揚げ避難をするか船長判断によって決めている。

介護保険特別会計

問 継続的ケアマネジメントについて

答 各島の見守り支援員が見回りをしているが、高齢者施設を利用している方が多いため、看護師と高齢者支援員が連携を図っている。これの成果のひとつとして、要介護3だった方が、更新時に要介護2へ引き下げとなる見込みであることから良い支援ができていないのかと考える。今後も引き続き続けていきたい。

簡易水道特別会計

問 一体化事業について

答 2基のうち1基ずつしか使わないのは、長寿命化のため、1年交代で使用する方針である。しっかり洗浄して保管すれば錆は防げるという認識である。

後期高齢者医療特別会計

問 一体化事業について

答 企画調整担当保健師とは、事業に係る健康教室など企画運営を調整する役割である。国保や各関係機関との連携強化を図ることが目的となっている。今後は、身体機能を測定し体組成計を活用したりして個人ごとにフィードバックして身体機能を数値化していきたいと考えている。診療所看護師は、戸別訪問により保健指導を行うもらうほか、介護予防拠点施設においてサロン活動を行うってもらう。

へき地診療所運営事業

特別会計

問 医師派遣事業について

答 令和3年度に実施できなかった分については、オンライン診療に切り替えている。住民によっては、オンライン診療に抵抗を感じる方もいるよう、1回あたり10名程度であった。

総括質疑

問 総括質疑について

答 入庁5年目以下の職員が21名と多く、職員の能力を発揮できる働き方改革や研修等等で能力アップを図り、事業執行していきたい。



十島村議会 令和4年3月定例議会 議決結果 63案件を審議 全て全会一致で原案の通り可決しました

開催期間	3月7日～3月16日(10日間)	
審議した案件	村長提出議案 63件	
可決・採決状況	原案可決	63件
可決した主な議案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 条例制定、改正について(12件) ・ 令和3年度補正予算について(7件) ・ 契約の締結について(8件) ・ 令和4年度当初予算について(7件) ・ 権利の放棄について(1件) ・ 同意の件について(1件) ・ 指定管理者の指定について(25件) ・ 財産の処分について(1件) ・ 整備計画の策定について(1件) 	

令和3年度補正予算

・ 一般会計 補正第6号	+273,468→4,897,033 千円
・ 国保特会 補正第4号	△101,610→ 169,269 千円
・ 船舶特会 補正第3号	△43,372→1,249,780 千円
・ 介護特会 補正第2号	△6,581→ 76,703 千円
・ 簡水特会 補正第3号	△1,203→ 301,418 千円
・ 後期特会 補正第2号	△7,508→ 17,099 千円
・ 診療特会 補正第2号	△25,723→ 196,455 千円

令和4年度当初予算

・ 一般会計	4,168,763 千円 (対前年度比: +406,543 千円)
・ 国保特会	160,180 千円 (対前年度比: △101,874 千円)
・ 船舶特会	1,340,860 千円 (対前年度比: +132,223 千円)
・ 介護特会	70,248 千円 (対前年度比: △10,730 千円)
・ 簡水特会	154,242 千円 (対前年度比: △143,469 千円)
・ 後期特会	20,666 千円 (対前年度比: △4,421 千円)
・ 診療特会	190,328 千円 (対前年度比: △31,548 千円)

議決結果

条例の制定・改正

- 十島村職員の給与に関する条例等の一部改正
- 職員の育児休業等に関する条例等の一部改正
- 十島村再編関連訓練移転等交付金基金条例制定
- 十島村国民健康保険税条例の一部改正

「令和4年度税制改正大綱」(令和3年12月24日閣議決定)により、国民健康保険法施行令の一部を改正する政令(令和4年政令第44号)が令和4年2月18日に公布されたことに伴う所要の改正をするもの。

他8議案

専決処分

- 財産の処分(土地: 鹿児島市宮之浦町)

鹿児島市宮之浦町の村有地について、購入希望者があることから早急に売買契約を締結し、遊休財産となっていた土地を処分するため。

他2議案

契 約

- 十島村（島内加入者光ファイバ網）高度無線環境整備推進工事請負変更契約の締結
 契約目的：十島村（島内加入者光ファイバ網）高度無線環境整備推進工事
 契約後金額：1,216,050千円（うち消費税額110,550千円）
 契約相手：西日本電信電話 鹿児島支店 鹿児島支店長 井原 浩二
- 諏訪之瀬島場外離着陸場避難ターミナル新設工事請負契約の締結
- 東之浜港改修工事（1工区）請負変更契約の締結
- 東之浜港改修工事（2工区）請負変更契約の締結
- 切石港泊地浚渫工事請負変更契約の締結
- 他1件

指定管理

- 口之島生活改善施設：口之島自治会
- 中之島水産物処理施設：株式会社 山口水産
- 諏訪之瀬島荷さばき施設：諏訪之瀬島荷役組合
- 十島村平島中園墓地：平島自治会
- 他21件



権利の放棄

- 十島村黒毛和種優良肉用繁殖雌牛預託事業
 宝島：1件

計画の策定

- 十島村辺地に係る総合整備計画策定の件
 平成28年度に策定した辺地に係る総合整備計画が、令和3年度で5年間の期限を迎えることから、新たに令和4年度から令和8年度までの計画を策定する。

3月議会ライブ中継視聴者数

島名	3/7	3/8	3/9	3/14	3/16	計
口之島	0	1	0	0	0	1
中之島	9	0	4	6	2	21
諏訪之瀬島	1	1	1	1	0	4
平島	2	2	1	1	1	7
悪石島	3	2	2	2	1	10
小宝島	0	0	0	0	0	0
宝島	1	1	1	1	2	6
計	16	7	9	11	6	49

編集後記

今回の議会だよりは、3名の議員の一般質問と議決結果を中心に編集しています。3月の議会ライブ中継視聴者数は右のとおりです。ぜひ多数の視聴をお待ちしています。

議長 前田功一

議会広報調査特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
坂元 勇	日高助 廣	日高久 志	岩下正 行	土岐純 郎	永田和 彦	田中秀 治